

9 奄美で大学生活を-放送大学の設立

放送大学「学習センター」(教養学部) 正規の4年制大学

■奄美在住の大学生に奨学金制度 ※卒業までの学費支給

各分野の専門家の講義を、BS放送・ラジオ・インターネットで受講。

4年・62科目(1科目・11,000円) + 入学金(24,000円) ※約70万円/人・4年

- ・ 募集人員 50人(毎年) 1~4年生(常時200人) ※ 想定費用 約3,500万円/年
 ※ 他大学(参考)・・・通信制のIT企業系・S大学の場合(240万円/人・4年)
- ・ 資格 奄美群島に在住(在勤)者。 ※Uターン・Iターンも可
 「放送大学(全科履修生)」として入学・卒業(124単位・62科目)を目指す
 出来れば、奄美に関する卒業研究(分野は自由)を。 ※ その他も可
 「学習センター」が放送大学の「地方キャンパス」である。

■効果

- ・ 県立図書館(奄美分館内)の放送大学「再視聴覚室」を充実 → 「学習センター」に
- ・ 若年層の人口流失抑制・流入促進
- ・ ふるさと研究の拡大・充実(様々な分野研究の促進・情報発信・各種学会への発表)
- ・ 奄美群島の内外研究者との交流の促進。 ※奄美群島の新たな知見と再評価に。
- ・ 卒業後に、島外大学への3年次編入・大学院進学も可能。

■研究のテーマ(例示)

- ・ 奄美群島の情報産業(現在・未来) ・ 奄美群島の交通(陸・海・空)
- ・ 奄美群島の農林水産業(現在・未来) ・ 奄美群島の地質(隆起サンゴ礁)
- ・ 奄美群島の自然(気象・災害・動植物の絶滅危惧種・固有種)
- ・ 奄美群島の歴史・民俗(シマ唄・方言・昔話・陸上・水上遺跡など)
- ・ 奄美群島の教育・医療・福祉(過去、現在、将来)
- ・ 奄美群島の伝統産業(大島つむぎ・黒糖)

■奄美群島における教育の現状

◆児童生徒の現状 (2020年6月現在)

	学校数	児童・生徒数	※奄美群島1市9町2村	
小学校	88校	6,451人	1,075人 / 学年	73人 / 校
中学校	50校	2,993人	957人 / 学年	59人 / 校
高等学校	9校	2,698人	895人 / 学年	299人 / 校
合計		12,142人	平均 975人 / 学年	

(松山哲則)